

# こうほう ショッキング

Vol.89

Kōhō shocking



さきはま とおる  
先浜 徹さん

## ●プロフィール

38歳。東京都出身。東京にある派遣会社に就職。営業所開設に伴い福岡に転居した時、対馬出身で当時福岡に住んでいた奥様と、知人を介して出会う。結婚と対馬移住を考えている時、現在の職場を知り、35歳の時結婚を機に対馬へ。特定非営利活動法人対馬次世代協議会（対馬コノソレ）勤務。美津島町雑知在住。奥様との2人暮らし。

○ご結婚前には対馬をご存知でしたか？

福岡時代の自宅の近くに「つしま亭」があったり、会社の同僚に対馬出身者がいたりしました。でも、対馬イコール「仏像事件の島」というイメージ程度で（苦笑）。結婚前に2〜3度来ました。プライベートでは来たことがありませんでした。妻からは、対馬はすごい田舎だと聞かされていました。僕は生まれも育ちも東京都区内ですから、すごいギャップを感じるだろうと思っただけではないでしょうか。

○実際に住んでみていかがですか？

突き詰めればいろいろあるのでしょうか、雑知に住んでいるのでそう不便には感じません。僕の父は山口県の上関出身なので、土地柄何となく似ているかなと思うこともあります。東京との違いを感じるのには、人柄ですかね。東京の人はグレーな感じというか、何を考えているのかわかりにくい感じがしています。福岡の人は、ズバズバと言っけれど人間味があって、人と人が接しやすい距離感だと思って。対馬でも同じ感じがしますが、身内意識がより高いかな。

妻と結婚して、対馬の身内ができた僕にとっては、人付き合いもそう難しく感じません。親戚も一挙に増えました。妻の実家で年に一度、親戚が集まってバーベキューをするんですが、14〜15人を一挙に紹介された時は、正直困りました（笑）。

○コノソレでのお仕事はいかがですか？

最初はNPOって何？から始まり、市役所との話し合いなど今までの仕事では経験したことのないことだらけ。未だに勉強することが多いです。コノソレは、それぞれ情熱を持った若者が集まって始まった団体。僕は一員となって3年目ですが、はじめの2〜3ヶ月は自分のポジションを考えてみたりしました。対馬の資源を使った商品の販売を通して、対馬の良さを島内外に発信する。事務方の僕は、そのあたりを支えていけたらと思っています。商品を売る大規模な場所がないので、いかにエンドユーザーに見てもらうかが課題。ネットでの繋がりに持つていく前に、業者や対馬会、マルシェへの出店などで人との繋がりを大切にして、基盤作りをしたいです。

○対馬の資源を利用した商品開発をされていますが、対馬そばの青汁についてお聞かせください。

昨年1月から発売を開始した青汁ですが、気に入ってくださった方はリピーターになって使いつけてくださっています。島内でもまだ対州そば青汁をご存知ない方も多いと思いますので、もっと知ってもらいたいです。

青汁として飲むだけでなく、お菓子作りに使ったり焼酎に入れて飲んだりするのもお勧めです。人によっては、二日酔いしないと言われる方もいます。

○熱中していることは？

コノソレが主体になつてきていて、無趣味化しています（笑）。6月にそばの葉を収穫し、7月末からはお祭りに出店続き。地域振興と商品を紹介できる良い機会にしたいです。体力勝負ですから、体に気を付けて頑張ります。まだ食べたことがない対馬のウナギを食べて、もっと元気になって、夏を乗り越えたいです。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いたたくこのコーナー。次回は上県町佐護にお住まいの小宮翔さんです。お楽しみに。